

刈谷の未来づくり提案誌

ORANGE PRESS

伊藤 よしえ MAGAZINE

EDITION :

JUNE 2026

市議の日常
ヒトコマ
2026

建設委員会質疑
公園と歴史を
未来につなぐまちづくり

公園と歴史を未来へつなぐまちづくり

刈谷の公園、その魅力を考える

私が刈谷に引っ越してきてから四年半ほどが経ちました。住んでみて最初に感じた、まちの豊かさの一つは、魅力的な公園が数多くあることでした。早く起きた朝は、少し歩いてミササガパークに出かけます。六月はバラが美しい季節でした。

刈谷市では二〇二三年に「魅力あふれる公園づくり構想」を策定し、亀城公園、刈谷市総合運動公園、フローラルガーデンよさみ、洲原公園、岩ヶ池公園の五つの主要な公園を対象として、地域の魅力向上や豊かな潤いのあるまちづくりを目指した整備を進めています。

また、五大公園だけでなく、近隣公園や街区公園といった、いわゆる『身近な公園』においても、マルシェの開催や健康遊具の設置など、ソフトとハード両面での活用や整備を行ってきました。

気候変動や高齢化、コミュニティの希薄化などの社会の変化に対し、今後公園にはどのような役割が期待されるでしょうか。六月議会の建設委員会では、身近な公園の利活用や整備に関することと、五大公園の一つである亀城公園の整備について質疑を行いました。

マルシェが生む “にぎわい” と交流

『身近な公園』である、近隣公園や街区公園は、現在どのような使われ方をしているのでしょうか。シニアの方々が活発に活動されている姿もよく目にする通り、ウォーキングやジョギングなど、健康づくりの場としての利用も増えているとのこと。また、十分な面積・駐車台数が確保できる公園では、民間の主催者が企画立案したマルシェやイベントなどが開催されており、にぎわい創出や交流の場としての活用も進んでいるとのことでした。

確かに、刈谷に限らずですが、マルシェやイベントの開催などは、長いトレンドで見ると随分増えてきたように感じます。

人が集まれば交流が生まれますし、出店をする事業者にとっては新たな顧客獲得などのメリットもあるかと考えますので、今後も頻度良く開催されるように市としてもサポートをして欲しいと、要望しました。

健康遊具、使っていますか？

皆さんは健康遊具を使ったことはありませんか？日高公園などで見たことのある方もいらっしゃるかと思います。私が好きなのは、足つぼ刺激ふみふみロード（石がたくさん埋め込まれていて、その上を裸足で歩くアレ）です。

健康遊具は、散歩の途中で気軽に使えることもあり、公園利用者の受け止めは好意的。今後も、新たな公園の整備時や公園再整備などのタイミングで、地域住民の声を聞き、健康遊具導入を検討するとの答弁をいただきました。

暑い夏でも安心して過ごせる公園へ

公園整備を語る上で、暑さへの対応は外せません。市が行っている暑熱対策としては、あずまや・藤棚などの日陰の設置、大きな公園ですと、ミストシャワーなどの設置も進められています。

質疑の中では、近隣公園や街区公園などに日陰がなくて困っているといった場合、自治会を通して要望を上げること、順次整備をいただける（面積や利用頻度など一定の条件は有）ことが確認できました。

私の所属する会派からは、日陰設置の他に、天候に左右されずに子どもたちが遊べる屋内施設の整備に関しても要望をしています。実現に向け、継続的に働きかけて参ります。

亀城公園、その未来を考える

刈谷城は、一五三三年に水野忠政によって築かれた城であり、徳川家康の生母・於大の方の生家です。現在、城址は亀城公園となっており、特に桜の名所として市民の皆さまに親しまれています。

先の三月議会では、亀城公園整備の中心となる刈谷城の整備予算が承認され、現在着々と準備が進められています。

一方で、日本では様々な分野で値上げラッシュが起きており、建築コストも同様と考えられます。こうした状況も踏まえ、本建設委員会ではコスト管理や市民へのPR活動などについて質疑を行いました。

刈谷城整備、その費用は？

最初にハッキリとさせておくべきは、刈谷城整備にかかる費用です。三月議会の建設委員会での質疑を受け、翌日の新聞記事の見出しで『全体工事費六十五億円』と報道されました。三月議会会で承認された刈谷城の石垣、辰巳櫓、多門櫓の一部の建設費用は約四十三億円であり、六十五億円との差異にあたる約二十二億円は、表門・裏門、残る多門櫓までを仮に整備した場合の費用です。今回の整備計画は、石垣、辰巳櫓、多門櫓で完了、つまり六十五億円ではなく、四十三億円の部分までということかを質問し、その通りであることを改めて確認しました。

ただし、冒頭でも触れた通り、今後建築コストのさらなる増加も懸念されます。刈谷城の工事費は、国が公表している公共工事における積算基準や労務単価などをもとに算出しており、国で上方改定がされると、その範囲での影響を受けることとなります。コスト削減努力が可能な範囲には限度もあろうかと思いますが、市に対しては、適切なコスト管理により、できる限り追加予算が発生しないよう努めていただきたいと訴えました。

世代を超えて愛される刈谷城へ

何世代にもわたってこの地に住まれている方と、例えば就職を機にこの地に来られた方では、刈谷城の歴史への関心や亀城公園に対する思い入れには、大きな差があると考えられます。せっかく予算を投じるからには、多くの市民の関心や愛着を生む事業にしていきたいというのが、私の願いです。

今後のPR活動について質問したところ、これまでの経緯や工事の進捗状況などをお知らせする『かわら版』の発行や、子どもたち向けに、石垣工事見学会で石積体験の場を設けるなどの取り組みを検討しているとのこと。石積体験をした子どもが大人になり、家族とともに亀城公園を訪れ、「この石垣にはお母さんが積んだ石があるんだよ!」といった会話がなされる、素敵な光景が目に見えます。世代を超えて愛され、新たな歴史が紡がれる場所となることを期待し、今後の取り組みについてもフォローしていきたいと思っています。



刈谷城整備後の亀城公園イメージ図
出典：魅力あふれる公園づくり構想

1



2



3



4



5



6



1・2 組合イベント

社会政策イベントの田植えでは、参加者の子どもたちと泥んこになりながら手植えをしました。
また今年はデンソー労働組合80周年のイベントも各種行われており、私たち組織内議員も参加させていただいています。

3 動画撮影

伊藤よしえはどのような人間で、どんな思いを持って活動しているのかを知っていただくための動画を作成しました。
写真は、座右の銘について話しているシーンです。

4・5 国政研修会

デンソー労働組合の職場役員の方々とともに、国政研修会に参加しました。日頃から連携している国会議員との意見交換会では、職場役員が感じている疑問や困りごとについて、活発な議論が交わされました。

6 ドラゴンズ観戦

ドラゴンズの2軍活動拠点の移転先に、刈谷市も立候補を表明しました。たくさんの自治体が名乗りを上げています。何よりドラゴンズにはもっと強くなってもらって、地域を盛り上げて欲しいですね。

[おしらせ]

ORANGE PRESS は、年間4回発行します。

日々の活動はSNSでも発信しています。

是非フォローをお願いします！DMにてご相談も承ります。

Facebook



X

